

は全く不可能ではないと思いますが、合理性の低い計画に対して、いかに地域の強い熱望や過去の経緯があったとしても、市民の理解なく宇仁小学校単体での現状での建てかえは進めることはできないと思っています。

公民連携について



森元清蔵 議員
(公正クラブ)

問 公民連携の手法について
どういう考え方に基いて加西市として取り上げようとしているのか。公民連携もいろんな手法があるが、加西市としてはどういう観点で、どの部門に活用しようとしているのか。東洋大学の可能性調査、自治体連携研究会からの報告書などのように分析し、今後活用するのか。住民、庁舎内での合意のもと、進めるべきだと思いが、今後の進め方は。

答 公民連携を推進する意義については、今後大幅な

公民連携について



森田博美 議員
(21 政会)

減収と社会保障費の増加、老朽化した施設の改修で多額の費用が要ることが予測されています。行政サービスを低下させることなく、効率的、機能的で持続可能な行政の運営をしていくためには、小さな市役所づくりをしていく必要があると考えており、その一つの手法が公民連携であると思っています。現在検討している取り組みとしては、市役所業務の包括的民間委託、水道事業のPPP、アセットマネジメント(資産運用)です。業務委託、包括委託、指定管理、市場化テスト、民間化等、いろんな手法がありますが、どのようかは、今後の検討課題と思っています。今後の進め方は、研究会からの報告書を受け、加西市の素案づくりをしていきたいと思っています。素案の段階から、議会、市民に十分開示し、意見を聞きながら実施可能なものにしていきたいと考えています。

問

斎場は、不幸にして亡くなられた市民にとって人生最後のセレモニーを行う施設。まさに行政の責任が最終的に明確にされるべき。市として委託をして業者に出すのであれば、その時点で細かく市民に方針を示し、事業者が決まった段階でお知らせをすることを含めて情報を出し、市民の意見を聞くという手順が必要ではないか。

答

市民が必要としているのは、良質な斎場のサービスの提供で、斎場業務の一部を委託しても市民にとってはシステム自体が変わることはなく、いままでどおりのサービスを受けることができ、だれがそのサービスを提供するかは、重要ではないと考えています。斎場の民間委託を既に導入している県下各市町の事前調査を行います



斎 場

たが、住民への事前説明はどの市町もされていませんでしたので、市民、各町ごとの説明については検討していません。代表区長会には説明済みで、市民には広報やホームページで周知したいと思っています。委託までの手順については、平成20年10月から関心表明の募集、またホームページにて公表しながら実施してきたもので、必要な手順を踏んでいると理解しています。

教育問題について



丸岡弘満 議員
(東風会)

問 昨年のタウンミーティングにおいて、学校統廃合の教育委員会事務局案が市民に説明、提案がされ、現在事務局案から委員会案作成へと作業が移っていると思うが、加西市における学校統廃合を教育委員長はいかに考えか。また、幼保一元化、民営化についてどのように進めておられるのか。

答

私の学校統廃合に対する基本的な姿勢は、子どもたちができるだけ平等な学校教育環境の中で学習を保障すること、保護者が安心して子どもを学校に預けることのできる体制を構築することの二つの視点に重点を置き、考えていかなければならないと思っています。また、地域の学校という保護者や地域の思いも大切にし、理解と合意に基づく統廃合を考え